

PF ニュースでは皆様の投稿をお待ちしています！

「ユーザーとスタッフの広場」では受賞記事やPFトピックスなどのPF側からの報告だけではなく、BLで実験の合間に楽しく読めるような、ユーザー側からの自由な記事も増やしていきたいと考えています。テーマは問いません。皆様からは気軽にどしどしご投稿いただき、PFニュースがより良い触れ合いの場になるように、是非ともご協力いただければと思います。

例えば、以下のようなアイディアが実際に提案されています。

- ◆ユーザーがPFに対する個人的な意見や思いをエッセイとして綴る。
- ◆編集委員がエッセイを持ち回りで執筆する。
- ◆エッセイの上手な人を探して推薦する。
- ◆A4で一枚ぐらいの分量でPFスタッフの新人が自己紹介をする。
- ◆ユーザーが同様に自己紹介をする。
- ◆チェーン式（友達の輪式？）に次の執筆者を推薦するエッセイ記事。意外な人間関係が見えたりして面白いのではないだろうか。
- ◆失敗談、苦労話。
- ◆匿名座談会を開催して記事にする。
- ◆PF創成期の雰囲気や苦労話を執行部の先生方に執筆してもらおう。
- ◆過去の記事から、現在のユーザーが興味を持ちそうな記事をアーカイブとして掲載する。著者が現役の先生ならば現在の視点を加筆して載せるのも面白いのではないだろうか？

その他、PFについて思うこと、気が付いたこと、提案等、どしどしお寄せ下さい！自薦、他薦も問いません！積極的なご投稿をお待ちしております！

宛 先

〒305-0801 茨城県つくば市大穂 1-1
高エネルギー加速器研究機構
物質構造科学研究所 放射光科学研究施設内
PF ニュース編集委員会事務局
TEL：029-864-5196 FAX：029-864-3202
E-mail：pf-news@pfqst.kek.jp
URL：http://pfwww.kek.jp/publications/pfnews/

編集後記

PF ニュースの編集委員を仰せつかり、早くも2年がたちました。その間、KEK放射光計画がスタートし、PF-UA 検討委員会やCDRの原稿作成などで、慌ただしくなりました。放射光施設のあり方や放射光を利用した研究の将来について議論することが多くなり、社会の一部としての科学研究についても深く考えるようになりました。私自身は所属機関の小さな放射光施設を使って実験をする機会も多いのですが、装置を維持・管理するスタッフと光を利用するユーザーが近ければ近いほど、放射光を使いこなし、研究が進められると信じています。KEK放射光には、ユーザーが放射光を使いこなし、スタッフと共に最先端の成果が創出できるような施設であってほしいと思います。PF ニュースは、もともとユーザーとスタッフの関係をより密にする媒体として発行されました。編集委員会も内部スタッフと外部ユーザーからほぼ同じ人数で構成されています。PF30 数年の歴史は、放射光科学を発展させただけではなく、より良い放射光施設とはどうあるべきかを試行錯誤した歴史でもあると思います。放射光の裾野が広がった現在にふさわしい施設へとPFが発展していくためにも、PF ニュースを活用していただけると幸いです。(M.K.)

平成 28 年度 PF ニュース編集委員

委員長	足立 純一	物質構造科学研究所
副委員長	片山 真祥	立命館大学 生命科学部
委員	安達 成彦	物質構造科学研究所
	阿部 善也	東京理科大学理学部第一部
	宇佐美德子	物質構造科学研究所
	丹羽 健	名古屋大学大学院工学研究科
	野澤 俊介	物質構造科学研究所
	兵藤 一行	物質構造科学研究所
	満汐 孝治	東京理科大学理学部第二部
事務局	高橋 良美	物質構造科学研究所

阿達 正浩	加速器研究施設
伊藤 孝憲	日産アーク株式会社
大川万里生	東京理科大学理学部
丹羽 尉博	物質構造科学研究所
原 幸大	静岡県立大学薬学部
間瀬 一彦	物質構造科学研究所
三輪 洋平	岐阜大学工学部